

別 紙

公開概要書

受付日	令和 7 年 5 月 19 日	回答日	令和 7 年 6 月 2 日	担当課	秘書広報課
意見等の内容	市政懇談会について ○現状と問題点 ・市民からの質問に対して、できない理由（人的資源や財源など限られているのは分かりますが…）を回答しているだけで、懇談会の後に市が良くなるイメージが湧かなかった。（5/16 都茂公民館の会に参加） ○意見・提言内容 ・意識の改革 市と市民が向かい合って（対立？）して話しているのではなくお互い現状からよくしようと同じ方向を向いて懇談をしている意識を持つことが必要ではないでしょうか。 ・市民からの質問に対する回答 できない理由を述べて終わりではなく、（質問に対して、市が答えて終わりではなく）「どのようにしたら改善できるか。取り組みをするか。」市民と話し合いヒントをもらい、その場で結論が出なければ、○月×日までにＨＰとその懇談会の会場の掲示板に回答を貼るなどの約束をする。 ○予想される効果 ・知恵を絞ることで生活の改善が出来る。 （10 個の案の中で 9 個ダメになっても 1 つ成功したら生活の改善につながる） ・抽象的な回答ではなく、具体的な期日と案を提案することでのやる気を見せることができる。 ・懇談会をして意見を聞き、具体的改善の成功例をつくることで懇談会の参加率があげられる。（自助・共助・公助の具体例ができる） 残念ながら昨日のままだと、議事録だけと懇談会をやったという事実しか残らず、現状から何一つ変わらないと危惧しております。 （他の参加者の方もおっしゃってました。） 「益田の人は益田が好き」でだから現状からどうにかしたい！ という思いが強いと埼玉から移住してきた私は感じます。 市もその思いを汲んで、「現状を伝える（できない理由を話す）」ではなく 「どうやったら出来る（知恵を絞る）」という意識をもって、仕事をしてほしいです。 期待しています。				
回答の内容	市政懇談会は、市長・副市長・教育長・各部局長が出席し、施政方針の説明や各部の取組状況の報告に加え、市民の皆様が抱えている課題や市に対する要望など、日頃から感じているご意見をお聞かせいただく機会として実施しております。市といたしましては、市と市民は対立するものではなく、共に地域をより良くしていくための協力関係にあると認識しております。そして市政懇談会は、市と市民との対話の場として重要な機会であると考えております。 会では皆様から様々な分野におけるご意見・ご要望をいただいておりますが、その場で即答することが困難なものについては、後日、ご意見いただいた方に担当部署から直接回答を差し上げているところです。ご意見の内容によっては対応できない理由を説明し、ご理解いただくに留まっているものもあるかと存じます。 来年度以降の実施にあたっては、より良い益田市を目指して市民の皆様と共に取組む姿勢で意見交換し、意見交換の内容・回答について市公式ウェブサイトで公開するなどの改善を検討したいと存じます。				